

令和8年8月28日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 中央普及支援センター 病虫害防除室 直通：257-6972
--

令和8年度病虫害発生予報第6号について

今後 発生が予想される大豆、果樹、野菜、花きの病虫害の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 9月上旬～9月下旬

2 予報内容

(1) 大豆

カメムシ類の発生は**やや多**と予想される。子実肥大期の防除を徹底する。

ハスモンヨトウの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

(2) 果樹

果樹カメムシ類の発生は**多**と予想される。山林に近い園では特に被害が多くなる傾向があるので、園内への侵入に十分注意する。

(3) 野菜・花き

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

軟腐病の発生は**やや多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

ネギ黒斑病の発生は**やや多**と予想される。予防防除を徹底する。

オオタバコガの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※病虫害防除実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。